

平成21年12月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノバレーゼ
 コード番号 2128 URL <http://www.novarese.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日
 配当支払開始予定日

(氏名) 浅田剛治
 (氏名) 田中雅樹

TEL 03-5524-1122

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第1四半期の業績(平成21年1月1日～平成21年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第1四半期	2,070		216		225		131	
20年12月期第1四半期	1,638	13.0	44	79.4	48	77.6	19	83.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年12月期第1四半期	2,615.56	2,585.07
20年12月期第1四半期	384.18	377.21

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
21年12月期第1四半期	6,645	3,309	49.8	66,195.68
20年12月期	6,398	3,258	50.9	64,398.08

(参考) 自己資本 21年12月期第1四半期 3,309百万円 20年12月期 3,258百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
20年12月期				802.00	802.00
21年12月期(予想)				1,000.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期累計期間	4,680		640		650		343		6,778.79
通期	10,300	10.2	1,625	10.4	1,635	8.1	867	8.9	17,134.73

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	有
以外の変更	無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第1四半期	52,143株	20年12月期	52,143株
期末自己株式数	21年12月期第1四半期	2,153株	20年12月期	1,544株
期中平均株式数(四半期累計期間)	21年12月期第1四半期	50,335株	20年12月期第1四半期	52,044株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、昨年より続く世界同時不況、金融危機が企業業績を圧迫し、これらに伴う雇用情勢の悪化や設備投資の抑制、また個人消費の低迷等、景気の後退が一層鮮明になりました。

このような状況の中、当社におきましては、出店コストが低下傾向にある現在は新店出店の好機であると判断し、今後の収益に寄与するゲストハウス候補地の選別・開発をすすめ、開業準備に取り組みました。また、「ノバレーゼフォーマルセンター」をオープンして、挙式・披露宴のご列席者への和装レンタルを提供するサービスを新たに開始いたしました。

売上高につきましては、前事業年度中に開業した新店効果や、既存店舗においても積極的な営業促進を図った結果、2,070百万円（前年同期比26.4%増）を計上することができました。

利益面につきましても、売上高が堅調に推移したことと、前事業年度より取り組んできた一括購買などの施策の効果もあり、営業利益は216百万円（前年同期比391.5%増）、経常利益は225百万円（前年同期比363.3%増）、四半期純利益は131百万円（前年同期比558.5%増）となりました。

なお、事業の種類別売上高については以下のとおりです。

①婚礼プロデュース事業

当第1四半期会計期間におきましては前事業年度に開店した都市型ゲストハウス1拠点および新たに業務提携した3拠点が業績に寄与したこと、また、既存店の業績が堅調に推移したことにより婚礼プロデュース事業の売上高は786百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

②婚礼衣裳事業

当第1四半期会計期間におきましては前事業年度に開店したドレスショップ『エクリュスポーゼ』2店舗が業績に寄与したこと、また、既存店の業績が堅調に推移したことから婚礼衣裳事業の売上高は441百万円（前年同期比26.6%増）となりました。

③ホテル・レストラン事業

婚礼プロデュース事業と同様に、当第1四半期会計期間におきましては前事業年度に開店した都市型ゲストハウス1拠点および新たに業務提携した3拠点が業績に寄与したため、ホテル・レストラン事業の売上高は842百万円（前年同期比24.8%増）となりました。

なお、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債および純資産の状況

①資産

当第1四半期会計期間末における資産総額は6,645百万円となり前事業年度末に比べ247百万円増加いたしました。主な要因といたしましては地価下落を背景とした出店コストの低下を受けて、有形固定資産（主に土地）を取得したことで508百万円増加し、前事業年度の業績に基づく法人税等の納税により、一時的に現金及び預金が296百万円減少したことによるものであります。

②負債

当第1四半期会計期間末における負債総額は3,336百万円となり前事業年度末に比べ196百万円増加いたしました。主な要因といたしましては設備投資にかかる長期借入金が393百万円、運転資金の借入により短期借入金が420百万円増加したことや、一方で未払法人税等が423百万円、未払金が239百万円それぞれ減少したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産総額は3,309百万円となり前事業年度末に比べ50百万円増加いたしました。主な要因といたしましては当第1四半期において、四半期純利益を131百万円計上したことと、前事業年度にかかる配当金の支払が40百万円、自己株式の取得により40百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、法人税等の支払額および有形固定資産の取得による支出があったことにより前事業年度末に比べ296百万円減少し1,188百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は241百万円となりました。主な要因は税引前四半期純利益を225百万円計上することができましたが、法人税等の支払額が488百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は756百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出が666百万円、差入保証金の差入れによる支出が92百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は702百万円となりました。主な要因は短期借入金の増加額が420百万円および長期借入れによる収入が600百万円となったこと、また、約定返済による長期借入金の返済による支出が242百万円となったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は堅調に推移しており、今後についても業績拡大に寄与すべく新規出店を計画しておりますが、一方で更なる景気悪化が懸念されることから第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、平成21年2月10日公表の予想数値を変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理および四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。
- ② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算出しております。なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,188,787	1,484,788
売掛金	133,044	148,445
たな卸資産	108,520	109,941
その他	128,250	153,201
流動資産合計	1,558,602	1,896,377
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,222,093	3,282,442
土地	571,866	-
建設仮勘定	18,380	7,900
その他(純額)	461,860	475,250
有形固定資産合計	4,274,200	3,765,593
無形固定資産		
	25,482	27,279
投資その他の資産		
差入保証金	487,510	400,480
その他	299,824	308,820
投資その他の資産合計	787,335	709,300
固定資産合計	5,087,019	4,502,173
資産合計	6,645,622	6,398,550
負債の部		
流動負債		
買掛金	376,513	459,934
短期借入金	420,000	-
1年内返済予定の長期借入金	412,832	449,308
未払金	345,121	585,121
未払法人税等	76,518	499,867
前受金	612,115	417,731
賞与引当金	33,000	-
その他	150,378	209,977
流動負債合計	2,426,480	2,621,940
固定負債		
長期借入金	826,940	433,235
その他	83,080	84,897
固定負債合計	910,020	518,132
負債合計	3,336,500	3,140,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,789	580,789
資本剰余金	440,339	440,339
利益剰余金	2,397,902	2,306,829
自己株式	109,909	69,480
株主資本合計	3,309,122	3,258,478
純資産合計	3,309,122	3,258,478
負債純資産合計	6,645,622	6,398,550

(2) 【 四半期損益計算書 】
【 第 1 四半期累計期間 】

(単位 : 千円)

	当第 1 四半期累計期間 (自 平成21年 1 月 1 日 至 平成21年 3 月31日)
売上高	2,070,553
売上原価	917,220
売上総利益	1,153,333
販売費及び一般管理費	936,640
営業利益	216,692
営業外収益	
受取利息	1,923
受取手数料	6,605
その他	3,386
営業外収益合計	11,915
営業外費用	
支払利息	2,842
その他	227
営業外費用合計	3,070
経常利益	225,537
特別損失	
固定資産除却損	65
特別損失合計	65
税引前四半期純利益	225,471
法人税、住民税及び事業税	72,656
法人税等調整額	21,162
四半期純利益	131,653

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
(自平成21年1月1日
至平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	225,471
減価償却費	104,654
賞与引当金の増減額(は減少)	33,000
受取利息及び受取配当金	1,923
支払利息	2,842
為替差損益(は益)	24
固定資産除却損	65
売上債権の増減額(は増加)	15,401
たな卸資産の増減額(は増加)	1,420
その他の流動資産の増減額(は増加)	7,353
仕入債務の増減額(は減少)	83,420
未払金の増減額(は減少)	198,509
未払費用の増減額(は減少)	11,387
未払消費税等の増減額(は減少)	75,384
前受金の増減額(は減少)	194,384
その他の流動負債の増減額(は減少)	10,729
その他の固定資産の増減額(は増加)	2,645
その他の固定負債の増減額(は減少)	1,817
小計	248,277
利息及び配当金の受取額	1,923
利息の支払額	4,493
訴訟和解金の受取額	1,200
法人税等の支払額	488,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,661
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	666,165
差入保証金の差入による支出	92,181
差入保証金の回収による収入	1,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	756,525
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	420,000
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	242,771
自己株式の取得による支出	40,429
配当金の支払額	34,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	702,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	24
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	296,000
現金及び現金同等物の期首残高	1,484,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,188,787

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成21年2月10日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期会計期間において自己株式609株を取得いたしました。この結果、自己株式が40百万円増加し、109百万円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第1四半期累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	1,638,679
II 売上原価	804,531
売上総利益	834,148
III 販売費及び一般管理費	790,058
営業利益	44,090
IV 営業外収益	7,898
V 営業外費用	3,302
経常利益	48,685
VI 特別損失	641
税引前四半期純利益	48,044
法人税、住民税及び事業税	4,239
法人税等調整額	23,810
四半期純利益	19,994

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期累計期間(自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)

	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	48,044
減価償却費	113,887
受取利息及び受取配当金	△1,024
支払利息	3,295
その他損益	641
売上債権の減少額	6,753
たな卸資産の減少額	1,676
仕入債務の減少額	△65,097
未払金の減少額	△29,227
未払費用の減少額	△14,514
未払消費税等の減少額	△22,143
前受金の増加額	184,495
その他流動資産の増加額	△1,927
その他流動負債の減少額	△22,108
その他固定資産の減少額	506
その他固定負債の減少額	△5,772
小計	197,484
利息及び配当金の受取額	1,024
利息の支払額	△4,196
訴訟和解金の受取額	1,200
法人税等の支払額	△355,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160,093
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△50,104
差入保証金の差入れによる支出	△88
差入保証金の回収による収入	766
その他	190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,237
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	500,000
長期借入金の返済による支出	△196,872
株式の発行による収入	2,100
配当金の支払額	△33,814
財務活動によるキャッシュ・フロー	271,414

	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
IV 現金及び現金同等物の増加額	62,083
V 現金及び現金同等物の期首残高	542,279
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	604,362

6. その他の情報

該当事項はありません。